

れきし

てらす通信

《発行》

新座市立歴史民俗資料館

野火止二丁目9番37号

TEL:048-481-0177

FAX:048-481-0149

MAIL:rekimin@city.niiza.lg.jp



第8号（令和7年3月）

開館から2年が経ちました！

令和5年4月1日、野火止の地に産声を上げた歴史民俗資料館「れきしてらす」。月日が経つのはあっという間で、4月で開館2周年を迎え、延べ1万1千人の方が来館されました。

これからも幅広い世代が楽しめる展示やイベントを通じて、皆さんに歴史を学ぶ楽しさや大切さを少しでもお伝えできるよう、職員一同、一層努力してまいりますので、これからも末永く歴史民俗資料館「れきしてらす」を応援していただきますよう、よろしくお願い申し上げます！



「普光明寺と大和田展」開催中です！

今年は市内大和田にある普光明寺の千体地蔵尊の御開帳の年に当たります。

千体地蔵尊は33年に一度、御開帳を行う普光明寺の秘仏であり、平安時代に坂上田村麻呂が奉納した行基菩薩の手による1体の地蔵菩薩像に、のちの鎌倉幕府2代将軍である源頼家が満願成就を祈念して仏師・運慶とその弟子に彫らせた999体の地蔵菩薩を加えて千体とし、普光明寺には33年に一度の御開帳を命じたという話が伝わっています。

歴史民俗資料館では、この大変貴重な御開帳を記念して、去る2月15日から企画展示

として「普光明寺と大和田展」を開催しています。普光明寺や御開帳についての展示に加え、普光明寺とともに歩んだ、いにしへの宿場町・大和田町の歴史もパネルや空撮などで分かりやすく解説しています。また、研修室では33年前の平成4年の御開帳の様子を記録した映像も上映しています。今年の御開帳の前でも後でも楽しめる展示となっておりますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひ足をお運びください！



福寿山普光明寺山門

※御開帳は4月4日（金）、5日（土）、6日（日）の3日間です※

期間限定展示・イベント等のご案内

【企画展示】

- ・「普光明寺と大和田展」

期間：4月13日（日）まで

【期間限定展示】

- ・五月人形飾り

期間：4月26日（土）～5月17日（土）

【イベント】

- ・甲冑着用体験

日時：5月11日（日）

午前10時～午後3時30分

当日受付

今年も開催！
武将や姫になりきっちゃおう！



写真はイメージです

～れきしてらすコラム～ 【学芸員のつぶやき】

第7回 「資料」と「史料」！？

今回は趣を変えて、お仕事にまつわるお話を紹介したいと思います。

博物館や資料館で扱う「しりょう」には「資料」と「史料」の2種類が存在するということをご存じの方は、歴史学を専攻されている（いた）方、もしくは無類の歴史好き、はたまた私たちと同じ職業の方ぐらいかもかもしれません。筆者も大学で歴史学を専攻して初めてそのことを知り、恥ずかしい思いをしたという苦い経験があります。

そこであらためて両者の違いを調べてみることにしました。『日本国語大辞典』によると、「資料」は「それを使って何かをするための材料。特に研究や調査のもとになる材料」。一方で「史料」は「歴史研究の素材となる文献、遺物、文書、日記、伝承、絵画、建築などの総称」と定義づけられています。太字の部分からも読み取れると思いますが、「民具や石器、土器など、民俗学や考古学で扱う遺物、そもそも全てのものが資料であり史料でもあるのでは？」という疑問が湧いてくるほど、実際はそう簡単に割り切れないグレーな部分が多いのが現状です。

白黒はつきり定義づけることは難しいのですが、現場では古文書や新聞、当時の音声記録などは「史料」、発掘された遺物や、研究書などの文献を「資料」と位置付けていることが多いようです。「資料」と「史料」、博物館や資料館を見学される際に、頭の片隅にとどめておくと見学がより一層面白くなる豆知識の紹介でした。

次回の「れきしてらす通信」は7月発行の予定です

最新情報は「広報にいざ」または新座市のホームページをご覧ください！